【基本情報】

教　　科	地理歴史	学　年	２年 後期～	教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院）
科　　目	地理Ｂ	単位数 (年間予定コマ数)	２ （６４）	副教材	新詳地理資料ＣＯＭＰＬＥＴＥ２０２１（帝国書院） NEW　COMPASS ノート地理２０２１（とうほう）
科目概要	「地理Ｂ」は、地図の読図や作図などの学習によって身につけた地理的技能や、地球上の各地で生ずるさまざなま事象について、因果関係や地域的特色を分析することで得た知識を活用し、現代社会の諸地域の特色や課題を考察する科目です。				
到達目標	現代社会の地理的事象を系統地理的に考察し、その成果を受けて現代社会の諸地域を歴史的背景をふまえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的な見方や考え方などを身につける。				
授業の進め方	・さまざまな地図の読図や作図などの作業的・体験的な学習によって地理的技能を身につけるとともに、世界の環境、資源、産業について学習します。 ・授業は講義形式で行いますが、効率的にすすめるために毎回ワークシートを中心に進めていきます。 ・板書事項は専用のワークシートを中心に進めていきます。その際、教科書・資料集・地図帳を使って調べてもらったり、白地図を使って作業をしてもらうことがあります。 ・毎回、必ず教科書・資料集・地図帳・ワークシートを忘れないようにして下さい。				
留意事項	・授業の際に配布されるワークシートをファイルに保存し、ノート代わりに使用すること。ワークシートは答えの穴埋めだけでなく、後から見て分かりやすいように、授業で説明した内容なども空きスペースにメモしておくこと。 ・板書に際しては、項目の重要度等に応じて色チョークで色分けをします。 ・忘れ物はしないこと。忘れ物がある場合には事前に申し出ること。 ・提出物の期限はしっかりと守ること。期限に遅れた場合、減点もしくは０点になる場合があります。 ・定期考査において、漢字で書けるものについては漢字で書かなければ原則正解にしませんので、普段から意識して学習するようにして下さい。 ・教師の発問に対する答えや質問など、積極的に授業に参加すること。				
家庭学習	・まずは授業を大切にし、毎回の授業の中できちんと内容を理解できるように心がけて下さい。その中で理解が不足していたと思われる分野については、教科書を読むなどの家庭学習で補っておいて下さい。また、定期考査に向けてはしっかり学習して臨んで下さい。				
備　　考					

【評価の方法】

観　　点	ポイント	割　合	評価項目
Ａ．関心・意欲・態度	・現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識をもっているか。	２０％	・ワークシートの作成内容・提出状況や授業態度等で評価する。
Ｂ．思考・判断・表現	・現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的・地誌的に考察することができたか。	２０％	・原則的に定期考査の中で「思考・判断・表現」にかかわる問題を出題する
Ｃ．資料活用の技能	・地図や統計、画像など地域に関する諸資料から情報を読み取ったり、図表などにまとめたりできたか。	２０％	・原則的に定期考査の中で、地図や表・グラフなどを用いた「資料活用能力」にかかわる問題を出題する。
Ｄ．知識・理解	・現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解しているか。	４０％	・原則的に定期考査の中で「知識・理解」に関する問題を出題する。

【年間計画】

単　元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
第Ⅰ部　さまざまな地図と地理的技能 １章　地理情報と地図	３	・さまざまな時代の地図について、その特色を学ぶ。 ・地球儀の活用や時差について学習する。 ・地図の種類とそれぞれの特色を学習する。 ・地形図、都市計画図などの特色を学習する。	○	○	○	○	・各時代の人々の世界観をとらえることで、現代の地図や身近な地図の有用性に気づくことができる。 ・平面の地図では球面上の情報を正しく表現できないこと、使用目的に応じて図法の異なる世界地図を使うことが理解できる。 ・現代世界に関する統計を地理情報に加工し、分布図や階級区分図などを作成できる地理的技能を習得する。 ・地域調査の目的や方法に適した地図を選択する能力を習得する。
２章　地図の活用と地域調査	３	・地域調査の手順について学習する。	○	○	○	○	・資料の収集・整理、現地調査、考察やまとめ・発表などの活動を通して、生活圏の地域的特色をとらえる能力を習得する。
第Ⅱ部　現代世界の系統地理的考察 １章　自然環境	１６	・規模や成因の違うさまざまな地形を取り上げて、その分布や形成要因から基礎的知識や概念について学習する。 ・地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げて学習する。 ・世界の気候区分の方法や世界規模から見た植生・土壌の特色について学習する。 ・日本の自然の特徴と人々の生活について学習する。 ・地球温暖化、オゾン層の破壊、砂漠化、森林破壊、大気汚染、異常気象を取り上げて学習する。	○	○	○	○	・地形と生活との関連を考察し、地形図の読図に関する地理的技能を習得する。 ・左記の特色や形成成因を考察・理解できる。 ・世界の気候帯の分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 ・地形や気候の特徴と､これによる自然災害の特徴を理解し、防災のあり方についても考察できるようにする。 ・環境問題を大観しながら自然環境の諸問題に関する分布や形成成因を考察・理解できる。
２章　資源と産業	１３	・世界・日本の農業、水産業、林業について学習する。 ・世界の食料問題について、発展途上国、先進国、日本の事例をもとに学習する。 ・世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて学習する。 ・現代世界の資源・エネルギー問題について学習する。 ・世界の工業の成り立ち・立地を取り上げ、工業地域の形成と変容について学習する ・世界の交通・情報通信・貿易・商業・観光を取り上げて、それぞれの特色と動向、形成要因について学習する。	○	○	○	○	・世界の農林水産業の特色の分布、形成要因などについて考察し、基礎的・基本的知識を習得する。 ・各国の事例をもとに、世界の食料自給の地域的なかたよりを大観・考察することができる。 ・世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観し、形成要因を考察できるようにする。 ・世界の資源をめぐる問題・エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題について大観できるようにする。 ・グローバル化する中での世界と日本の工業に関して、世界的視野に留意して、それらの動向・形成要因について考察できるようにする。 ・それぞれの課題に関して、世界的視野に留意して考察することができる。
３章　人口、村落・都市	６	・世界の人口分布、人口増加・人口構成に関する動向を取り上げて、形成要因について学習する。 ・村落の立地と形態、都市の発達と変容について学習し、村落・都市について基礎的・基本的知識を学習する。	○	○	○	○	・世界の人口増加地域と減少地域の人口問題を比較しながら､日本の人口問題とも関連させて考察できるようにする。 ・世界と日本の居住・都市問題の地域性や形成要因について、世界的視野に留意して考察することができる。
４章　生活文化、民族・宗教	４	・世界の衣食住を取り上げ、それらの分布と特色を理解する。 ・世界の言語と宗教の分布について学習する。生活との関わりについて理解する。 ・民族と国家との関連について学習する。	○	○	○	○	・衣食住の地域的差異と世界的な画一化について、地域性との関連をもとに考察することができる。 ・言語・宗教と生活との関わりについて理解し、宗教と社会との関連を考察することができる。 ・世界的に見た民族と国家の多様性や、日本の領土問題について考察し、国家群や国連の役割が理解できる。

第Ⅲ部　現代世界の地誌的考察 １章　現代世界の地域区分	１	・現代世界が自然、政治、経済、文化などの指標によってさまざまな地域に区分できることを学習する。	○	○	○	○	・多様な区分から現代世界の特色を理解できるようにする。
２章　現代世界の諸地域	１６	・東アジアの地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流について学習する。 ・東南アジアについて、歴史的背景や民族、自然、農業、工業、都市問題という項目ごとに学習する。 ・南アジアについて、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・ＩＴ産業という多様な事象を学習する。 ・西アジア・中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業を学習する。 ・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域の結びつきを学習する。 ・ヨーロッパについて、形式的な地域区分にもとづき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち､域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパを学習する。 ・ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきを学習する。 ・アングロアメリカの、ゲルマン文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界の中のアメリカ合衆国、アメリカ合衆国とのつながりが深いカナダについて学習する。 ・ラテンアメリカについて、ローマン文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化を学習する。 ・オセアニアについて、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、アジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物を学習する。	○	○	○	○	・歴史的背景や文化の特色等とも結びつけて、それぞれの項目ごとに整理し、各地域の特色と地球的課題を考察できるようにする。
３章　現代世界と日本	２	・これまでの学習をもとに、日本の自然､産業構造､人口構成と居住問題、伝統文化保全とグローバル化について学習する。	○	○	○	○	・日本が抱える地理的な課題を発見し、その課題を多面的・多角的に考察できるようにする。